

平成26年度福井県立高等学校入学者選抜学力検査の結果について

全日制・定時制の第1次の学力検査合格者 4,581人（昨年度4,489人）に関する課程別・教科別の平均点は、表1のとおりである。

また、推薦入学、中高一貫教育校入学者選抜、第1次学力検査および第2次学力検査の課程別の合格者数は、表2のとおりである。

（ ）内は、前年度のものである。

表1 課程別・教科別の平均点

教科	全 日 制	定 時 制
国 語	60.7 (63.9)	32.6 (33.7)
英 語	53.6 (72.2)	15.4 (24.8)
数 学	51.3 (55.7)	11.4 (16.7)
社 会	58.7 (64.3)	
理 科	51.6 (61.4)	
総 点	275.8 (317.5)	59.3 (76.8)

表2 課程別の合格者数

	全 日 制	定 時 制	合 計
推薦入学によるもの	950 (934)		950 (934)
連携型中高一貫教育校入学者選抜によるもの	86 (95)		86 (95)
1次学力検査によるもの	4,393 (4,315)	188 (174)	4,581 (4,489)
2次学力検査によるもの	26 (35)	57 (69)	83 (104)
計	5,455 (5,379)	245 (243)	5,700 (5,622)
充足率	98.8% (98.2%)	51.0% (50.6%)	95.0% (94.4%)

<参考>

募集定員	5,520 (5,475)	480 (480)	6,000 (5,955)
------	---------------	-----------	---------------

平成26年度福井県立高等学校入学者選抜学力検査 各教科の概要

【国語】

言葉のあり方について述べた詩人長田弘の書いた文章を読んで、全体の要旨をとらえて自分の言葉で説明する力をみる問題や、地域に公園を建設する際の立場の異なる三人の意見に対して自分の賛成する意見を選び、資料と関連付けて理由を書く問題などで学力差が見られた。今後は、問題の意図に応じて文章全体の内容や与えられた資料を注意して読み取り、適切に自分の言葉で表現できる力の育成が望まれる。

【英語】

ブラスバンド部の体験から学んだことについて説明した英文を読んで、要点を日本語でまとめて書く力をみる問題や、帰国する留学生に贈るビデオメッセージの作成について話合っている対話文から、複数の情報を読み取って整理して答える力をみる問題で学力差がみられた。今後は、英文を速く読んで具体的内容や要点などを理解したり、まとめたりする力をつけるとともに、自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように英語で表現する力の育成が望まれる。

【数学】

二次関数や反比例のグラフから、数量関係を読み取って説明する力をみる問題や、図形を回転させた立体の体積や図形の重なった部分の面積について、見通しを立てて答えを求める力をみる問題で学力差がみられた。今後は、自分で図や表などを書いて考える力をつけるとともに、考えたことを言葉や数式を使って説明する力の育成が望まれる。

【社会】

気温と降水量のグラフから地形の特徴を説明するなど、地理的事象を関連づけて理解する力をみる問題や、出来事の年代を並べ替えるなど、歴史的な因果関係を考える力をみる問題については学力差が見られた。今後は、授業で学習した内容を関連付けて整理したり、まとめたりすることを通して、事象の関係を説明することができる力の育成が望まれる。

【理科】

エアコンによる除湿や動滑車のはたらきなど、日常生活で見られる現象を題材として、実験結果を分析して答えを導き出す力をみる問題や、酵素アミラーゼのはたらきを調べる実験で、仮説をもとに実験を計画する力をみる問題などで学力差が見られた。今後は、観察・実験の結果を科学的な根拠に基づいて論理的に考え、説明できる力の育成が望まれる。